



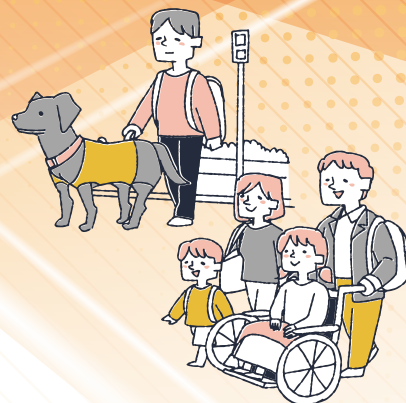
障害者や高齢者など誰もが快適に観光できる東京へ！

令和7年度 アクセシブル・ツーリズム推進 Webセミナーのご案内

参加費無料

少子高齢化が進む中、高齢者や障害者の旅行ニーズに対応することは、観光需要の喚起と地域経済の活性化に向けた重要な取り組みです。さらに、高齢社会の進展やインバウンド需要の拡大を背景に、訪日外国人における高齢者・障害者の旅行需要も高まっており、アクセシブル・ツーリズムの推進が求められています。本セミナーでは、観光施設や宿泊施設の情報発信の工夫、訪日外国人のニーズの理解、観光事業経営者がアクセシブル・ツーリズムに取り組むためのヒントなどを通じて、誰もが安心して楽しめる旅行環境の整備に向けた知見を提供します。

参加費は無料ですので、この機会にぜひご参加ください。



セミナー概要

セミナー日程 及びテーマ

第1回：令和7年10月24日（金） 14:00～15:45

テーマ アクセシブルな観光情報の発信

第2回：令和7年10月28日（火） 14:00～15:45

テーマ インバウンドへのアクセシブルな対応

第3回：令和7年10月29日（水） 14:00～15:45

テーマ 経営視点におけるアクセシブル・ツーリズムの効果

開催方法

ZoomまたはYouTube Liveによるオンライン開催

※ご視聴いただく環境に合わせ、ZoomまたはYouTube Liveを当日お選びいただけます。

※視聴URLは開催日前日までに、ご記入いただきましたメールアドレスに送信いたします。

定員

50名程度

プログラム

裏面参照

セミナーの申込方法

●ウェブサイトからのお申込み

下記URLまたは右の二次元バーコードを読み取っていただきますと申込画面に遷移します。

パソコン、スマートフォンからログイン可能です。

<https://forms.office.com/r/K8Ya4kDqLw>



●メールでのお申込み

団体名、所属部署名、お名前、電話番号、E-mail、参加希望日をご記入いただきお送りください。

accessibletourism@jtb.com

●電話でのお申込み

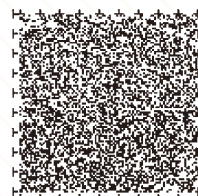
TEL：03-5539-5248（平日10:00～17:00）

問い合わせ先

東京都アクセシブル・ツーリズム推進事務局 株式会社JTB 東京交流創造事業室内

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1階 TEL：03-5539-5248 FAX：03-5539-5250

E-mail：accessibletourism@jtb.com 営業時間：平日10:00～17:00 土日祝日休



セミナープログラム

実際の事例や障害当事者の声をもとにケーススタディを行います！

※各プログラムは予告なく変更となる場合があります。あらかじめご理解いただきますようお願いいたします。

	第1部／14:00～14:30 当事者インタビュー（現状把握）	第2部／14:30～15:30 対応事例を通じた学び	第3部／15:30～15:45 課題解決の提案
第1回 令和7年 10月24日（金）	アクセシブルな観光情報の発信		
	当事者にとって観光（移動・宿泊・食事等）の際の困りごとに学ぶ必要な情報	講師：阿部 一雄 バリアフリーな宿泊情報の見える化 講師：方山 れいこ 障害の有無にかかわらず誰もが利用しやすいWeb環境 講師：大城 琴音 パンフレットやWebサイト、SNS等媒体別の情報発信の有効性	講師：室井 孝王 対応事例から導く当事者に必要な情報と発信のポイント
第2回 令和7年 10月28日（火）	インバウンドへのアクセシブルな対応		
	高齢や障害があるインバウンドにとって観光の際の困りごとに学ぶ必要な対応	講師：野村 国康 インバウンドのアクセシブル・ツーリズムの取り組み 講師：グリズデイル・パリージョシュア インバウンドが知りたい日本のアクセシブル情報 講師：植松 隼人 デフリンピックを控え、海外から訪都する耳の不自由な方の接遇のポイント	講師：野村 国康 対応事例から導くアクセシブル・ツーリズムのポイント
第3回 令和7年 10月29日（水）	経営視点におけるアクセシブル・ツーリズムの効果		
	アクセシブル・ツーリズム先進事業者から学ぶ取組効果	講師：太田 冬彦 「すべての人に優しい空」の実現に向けたANA（全日本空輸株式会社）の取り組み 講師：佐藤 正毅 「世界の持続可能な観光地 TOP100 選」で世界1位で選ばれた箱根ユニバーサルツーリズムの取り組み	講師：徳江 順一郎 対応事例から導くアクセシブル・ツーリズムの組織的効果と経営効果

セミナー講師



室井 孝王
特定非営利活動法人高齢者障がい者の旅をサポートする会理事長



阿部 一雄
阿部建設株式会社代表取締役社長
全国のバリアフリーな宿泊情報「見える化」したサイト「KKEL（イケル）」運営



方山 れいこ
株式会社方角代表取締役



大城 琴音
株式会社ビヨンドマーケティングソリューション事業部



野村 国康
おはようトラベル株式会社代表取締役社長

【プロフィール】

全日空ワールド(株)、(株)ANAセールス勤務。障がい者の旅行申込みに対応するサポートデスクを立ち上げる。日本旅行業協会において高齢者・障がい者の旅を受け付けるための講習会講師を務め、旅行業界でのユニバーサルツーリズム啓蒙に努める。旅サポーターとして多くの高齢者・障がい者の旅の旅行介助に係る。

【プロフィール】

37歳で趣味であるオートバイレース中の事故により車いす生活者となる。それ以来数百年のバリアフリー工事に携わり、障がい者、高齢者、介助・介護するご家族と向き合う。現在、トータルバリアフリーコーディネーターと称して、健常者と障がい者の両方を経験した視点から、バリアフリーやノーマライゼーションなどを説きながら、「本当のバリアフリー」の施設をつくり続けている。

【プロフィール】

社会課題解決を目指す企業やプロジェクトのブランディングを数多く手がけ、過去には「エキマトポ」「ミルオト」など障害福祉領域プロジェクトや、聴覚障害者向けの情報Webメディア「キコニフ」を手掛ける。多様な障害と社会をつなぐ新しい方法論を模索し、革新性と社会貢献を軸に活動している。

【プロフィール】

これまで、SNSからの情報発信を通じ、地域の魅力を国内外問わず多くの人々に届けることをミッションに、自治体や大手企業の国内・海外向けのSNS運用を5年以上、約150社以上運用を行う。SNSのターゲット広告を研究し尽くし、効果を出す運用を心掛け、クライアントに合わせた運用方法を提案し、課題解決に取り組んでいる。

【プロフィール】

高齢のため介助が必要な方、病気や障害などで旅行にサポートが必要な方のために「おはようトラベル株式会社」を2018年に創設し、介護施設や障がいがある方からの旅の相談、企画・手配を行う。また、訪日外国人旅行者向けアクセシブルツアーの企画手配、旅行用福祉用具の貸出しの他、人材養成を目的とした「ユニバーサルおもてなし研修」なども実施。



グリズデイル・パリージョシュア
「ACCESSIBLE JAPAN（アクセシブルジャパン）」運営者



植松 隼人
サインフットボールしながら代表兼コーチ



徳江 順一郎
東洋大学国際観光学部国際観光学科学科准教授



太田 冬彦
全日本空輸株式会社CX推進室CX戦略部



佐藤 正毅
箱根DMO（一般財団法人箱根町観光協会）戦略推進部マネージャー

【プロフィール】

カナダ出身。四肢に麻痺があり、4歳から電動車いすで生活をしている。日本語のバリアフリー情報はあっても、英語版はないというケースがよくあり、これでは旅行をあきらめてしまう人も多いという思いから障害をもつ外国人観光客向けに日本のバリアフリー情報を紹介するサイト「ACCESSIBLE JAPAN」を開設した。

【プロフィール】

生まれつき聴覚に障害があり、2010年にはデフフットサル日本代表に選ばれ国際大会等で活躍。その後、日本代表コーチと監督を経て、2023年デフサッカーW杯で準優勝という過去最高成績を残す。現在は少年サッカーのコーチとして指導および運営を行うとともに、デフリンピックの啓発や共生社会の実現に向けて講演会を行うなど日々積極的に活動している。

【プロフィール】

上智大学経済学部卒業、早稲田大学大学院商学研究科修了。大学院在学中に起業。飲食店の経営やマーケティング関連のコンサルティング、デザイン事業を手がける。2011年に東洋大学に着任し、ホスピタリティ、ホテル、ブライダル関連の科目を担当。現在は、「城山ホテル鹿児島」や「宿泊施設関連協会」など、多くの事業者・団体の顧問も務める。

【プロフィール】

すべてのお客様に安心・快適なサービスをご利用いただくことを目指し、サービスや施設の充実を図るとともに、多様性を尊重し、お客様一人ひとりの気持ちに寄り添ったサービスを開発・提供できる人材の育成を推進している。グループ社員一人ひとりが心のバリアフリーを体現できるように、フロントラインスタッフへの教育や、当事者・外部講師による心のバリアフリーセミナーを通じて、ソフト面での取り組みを強化している。このような取組がANAの企業価値向上に貢献、顧客満足度向上、ブランドイメージ向上、従業員のモチベーション向上、新たなビジネスチャンスの創出につながっている。

【プロフィール】

箱根DMOの戦略マネージャーとして、箱根町が実施する「ユニバーサルツーリズム」の取組や箱根町観光協会による町民・観光事業者・行政に加えて、社会福祉協議会が協同して作成した「車いすで巡る箱根観光MAP」などをマネージメント。従来の観光の枠組みを超えて、官民一体ALL箱根で推進してきたことユニバーサルツーリズムの取り組みが評価され、「世界の持続可能な観光地TOP100選」（観光の国際認証団体グリーン・デスティネーションズが実施するGreen Destinations Top 100 ストーリーズ2023）に世界1位に選ばれた。